

# 「理系」で読み解く すごい日本史

竹村公太郎〔監修〕

このたび、青春出版社（東京都新宿区）は『「理系」で読み解くすごい日本史』（監修・竹村公太郎）を3月2日に刊行いたしました。

歴史は「理系」の視点で読み解くと、思いもよらない発見があります。

イギリスの歴史学者A・J・トインビーに“人類史の奇跡”といわしめた日本の近代化。その基盤には江戸の卓越した都市設計力がありました。また、最先端の高層建造物・東京スカイツリーが1300年前の“世界最古の木造建築物”法隆寺五重塔の耐震技術を取り入れています。

このように、日本は歴史上、常に世界最先端の理系力を持っていました。そんな「理系」の視点で、縄文・弥生時代から近現代まで、歴史を変え、世界をリードしてきた日本の底力を明らかにした、これまでにない日本史読本です。

## 監修者プロフィール

竹村公太郎（たけむら・こうたろう）

1945年生まれ。東北大学工学部土木工学科修士課程修了。建設省（現・国土交通省）入省後、近畿地方建設局長、河川局長などを歴任。2002年、国土交通省退官後、現在は日本水フォーラム代表理事。福島水力発電促進会議座長も務める。地形・気候・インフラの視点から歴史・文明を論じ、注目を集めている。おもな著書に、ベストセラーとなった『日本史の謎は「地形」で解ける』（PHP研究所）など多数。



ISBN978-4-413-004565-0  
新書判（青春新書インテリジェンス・シリーズ）  
総 192 ページ  
価格 920 円＋税  
2019 年 3 月 2 日発売

## ☆本書の構成☆

- 第1章 世界の最先端を行く縄文時代の技術力
- 第2章 古より現代に受け継がれる“ものづくりの神髄”
- 第3章 歴史を塗り替えた戦国期のテクノロジー
- 第4章 江戸が世界一の都市になった設計力
- 終章 明治以降の“奇跡の発展”を支えた理系の力

## 本書のお問い合わせ先

青春出版社・プロモーション部 西尾春香 h-nishio@seishun.co.jp

〒162-0056 東京都新宿区若松町 12-1 Tel 03-3202-1212 Fax 03-3203-5130